

地域・防災だより

第47号 2020年2月
天嶽院下自治会・自主防災会
(作成協力)防災協カグループ

◎今年も天嶽院の初詣に大勢の元旦歩行会一行

晴天に恵まれた元日の朝、天嶽院は初詣の参拝者で賑わいました。初詣には「村岡元旦歩行会」の約200名の一行も訪れました。この催しは、天嶽院や柄沢神社、日枝神社、弥勒寺など村岡の8つの寺社を巡るものです。参加者には各寺社でお神酒や飲み物などが振舞われ、歴史ある村岡の寺社めぐりを楽しみながら歩くことができました。



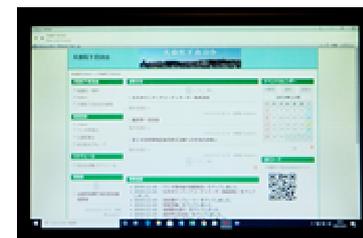
◎真冬でも町内の防犯パトロールやっています

底冷えする真冬の夜間、自治会の防犯防災役員とOB・ボランティア隊員(計23名・中川隊長)が、毎月第2・第4土曜に、拍子木を叩き「火の用〜心!!」「戸締り用〜心!!」と呼掛けながら町内を巡回し、地域の安心・安全に貢献しています。なお防犯パトロール隊では、この防犯パトロールへの随時ボランティア参加も歓迎しています。



◎自治会がインターネット上にホームページ開設

この度自治会は、スマホやパソコンで閲覧することが出来るホームページを開設しました。いずれも「天嶽院下自治会」で検索すれば表示(スマホは自治会のQRコードでも表示)されます。すでに自治会や自主防災会の活動とともに公園愛護会やラジオ体操会などの地域活動も紹介されていて、自治会では皆さんの日頃のご利用を呼び掛けています。



◎今年の藤沢市「地域防災活動推進大会」(1月25日)から

新装なったFプレイス(藤沢公民館・労働会館等)を会場に、第1部は防災活動事例発表があり、第2部の防災講演会では、「湘南地方を襲う地震と津波」をテーマに神奈川県温泉地学研究所長 加藤照之氏が講演され、今後高い確率で発生が予想される「南海トラフ地震」や「首都直下型地震」が湘南地方に及ぼす被害や影響について、地震と津波の基礎知識を交え話された。講師は藤沢市在住でもあり、会場の市内防災関係者一同は、最後の質疑応答も含め熱心に聴講していました。



防災キャンペーン「火災報知器の設置はお済みですか？」 平成23年から住宅に設置が義務化され、火災発生時に家族の身を守る装置の一つです。まだお済みでない住宅は、早急に設置されることをお勧めします。藤沢市の設置状況は、令和元年6月時点の推計で85%、神奈川県平均の84.1%や全国平均の82.3%より高い状況です。設置後、火災時の死亡件数が減少したことも報告されています。大切な家族の命と家財を守るため、私たちの地域でも更なる普及が望まれます。既に設置済みの場合は、毎年動作テストによる電池等の不具合の点検も忘れずをお願いします。

一時避難場所:御幣下公園 避難施設:藤ヶ岡中学校 広域避難場所(大火時など):天嶽院・藤ヶ岡中学校